

一般社団法人日本人間工学会第79回理事会 議事録

1. 開催日:2025年12月24日(水) 10:00~12:12

2. 開催場所:オンライン Zoom 開催

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27名・定足数14名以上)

(理事):鳥居塚崇(理事長),中西美和(副理事長・第68回大会),井出有紀子(企業活動),加藤麻樹(学術),河合隆史(総務),齋藤誠二(若手支援),下村義弘(広報),申紅仙(総務),松崎一平(普及),松田文子(広報),村木里志(編集),持丸正明(国際・戦略),八木佳子(国際),横井元治(財務),横山詔常(企業活動),吉村健志(財務),和田一成(普及)

[17名]

(理事兼支部長):松田礼(関東),横山清子(東海・第67回大会),石原恵子(中国・四国),小崎智照(九州・沖縄)

[4名]

[計:21名]

(欠席者):有馬正和(関西),石橋圭太(若手支援),國澤尚子(表彰),小林大二(北海道),高橋信(東北),能登裕子(学術)

・監事:赤松幹之,白井伸之介

・オブザーバー:榎原毅(認定機構・国際誌・第66回大会),小谷賢太郎(第10期選挙管理),佐藤洋(JENC・標準化推進),吉武良治(表彰)

・事務局:西原彩,米倉裕美

※全員オンライン会議出席者

4. 議事概要

定足数14名を超える21名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後,定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

会議初めに,鳥居塚理事長より今夏にご逝去された元理事長 堀江良典先生への哀悼の意が述べられ,黙祷を行った。

【審議事項】

(1) 第1号議案 会費納付方法見直しに関する検討(財務)

吉村財務理事より,今年度から実施している会費請求方法(郵送からメール)の変更に伴い,会費納入率が例年より少し下がっていることの報告と,事務局作業の効率化と会員サービスの向上,安定した会費納付率の確保のために,今後どのような方法が良いのか検討中の旨,説明があった。今後の方針について,案1.従来の請求方法に戻す,案2.試行的運用を継続する,案3.会費納付システムおよび会員管理システムの導入を検討,の3つの審議を行い,案1の従来方法に戻すことはせず,案3で進めることを決定した。今後,財務と総務で検討を進める。

会員サービスの向上,の内容について質問があり,会費のクレジットカードでの支払いや会員ページで自身の会費納入状況の確認ができること等が挙げられた。

(2) 第 2 号議案 次世代ジュニア会員(仮)について(普及委員会)

松崎普及委員長より、会議で検討した内容について説明があり、下記 3 点の確認を行った。

会員名称の決め方(学会員へアンケートを実施した上で、理事会で確認し決定する)、対象者を高校生以下とし保護者や教員の会員枠は作らず入会時に連絡先を登録する形で運用すること、ジュニア会員(仮)の運用をするための臨時委員会(準備委員会)の設置提案。

審議の上、すべて提案通り承認された。発表の場を提供できると高校生にとってメリットとなる等の意見があった。

(3) 第 3 号議案 研究部会規程の改定について(学術委員会)

加藤学術委員長より、前回理事会より継続審議となっている研究部会規程の改定案の説明があり、審議の上承認された。第 6 条に若手の方に論文投稿してもらえるように「論文投稿の支援」の文言を入れたこと等の説明があった。研究部会主導で本部と開催した海事人間工学研究部会の有料セミナーの例が紹介された。講演会については第 6 条の成果の発信にこれまで通り含む。第 6 条 2 項に、毎年 1 つ実施するように文面を追加予定の旨説明があり、承認された。研究部会への連絡等の詳細は、引き続き学術委員会にて検討を行う。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 河合総務理事が、第 78 回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告

2025 年 11 月末現在、会員数 1,212 名(+10 名)、賛助会員 23 社 25 口(+3 社 4 口)について報告。

(1-3) メールによる審議等の結果 1 件について報告。

(1-4) 協賛等の依頼 7 件について報告。

(2) 財務報告

(2-1) 横井財務理事より、11 月度収支計算書について概ね例年通りであること、IEA 会費を支払ったこと、活動費の執行がまだ少ない支部・委員会には計画的に支出して欲しい旨お願いがあった。有料講演会の予定について確認があり、今後積極的に、対外的に人間工学を広めていくような講演会を理事会メンバーに企画してほしい旨、鳥居塚理事長よりお願いがあった。

(3) 第 66 回大会(2025 年 5 月 21~23 日:北九州国際会議場)開催報告

榎原第 66 回大会長より、リアルタイム翻訳を導入し海外から多くの方に参加いただけたこと、非会員の方の参加が多かったこと、全体の収支報告等の報告があった。

(4) 第 67 回大会(2026 年 5 月 23~24 日:名古屋市立大学)準備状況報告

横山第 67 回大会長より、第 67 回大会 HP が公開となったこと、普及委員会と協力して若手向けワークショップを開催予定の旨、準備報告があった。また、2026 年 1 月 13 日から演題申込を開始することの案内があった。

(5) 第68回大会(2026年5月29~30日(仮):慶応義塾大学)準備状況報告

中西大会長より、上記の会期で矢上キャンパスで教室、機材等を確保済みであること、その他の準備は、年度明け(2026年4月)に実行委員会を作り、開始する予定の旨、報告があった。

(6) 担当・委員会・支部報告

(6-1) 広報委員会

松田委員長より、人間工学グッドプラクティス賞の審査協力のお願いと、12月に委員会を開催し、学会パンフレットを電子版で作成しHPに掲載することおよび学会サイトのリニューアル検討を行ったことの報告があった。

(6-2) 編集委員会

村木委員長より、学会誌発行状況、執筆要領の改訂、支部大会での広報活動、Editorial Managerの運用状況について報告があった。

(6-3) 国際協力委員会

持丸委員長と八木副委員長より、10月末~11月初めに精華大学(北京)で開催されたIEA councilおよびACEDの報告、台湾人間工学会(EST)の開催案内(2026年3月28~29日)、ACED2026はシンガポールでの開催(8月)、ACED学生デザイン賞の創設に伴いJESとしても1名選出するため公募および優秀研究発表奨励賞を受賞した学生さんに応募を呼び掛ける予定、IEA2027は2027年8月23~25日にロンドンで開催される等の報告があった。

(6-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、11月6日に委員会を開催し継続して活動していること、日本提案で立ち上げたサービスエルゴノミクスのWGが活動を開始したこと、標準化貢献賞の準備を進めている旨、報告があった。

(6-5) 表彰委員会

吉武委員長より、各支部大会で優秀研究発表奨励賞の表彰を実施していただいたことへのお礼と、1月以降に次年度に向けて各賞の選考が始まるので、担当・委員会の皆様にご協力をお願いする旨、説明があった。

(6-6) 学術委員会

今回はなし。

(6-7) 人間工学専門家認定機構

榎原機構長より、2026年2月14日(土)に専門家認定試験(大阪開催、応募締切2026年1月9日)を実施するので周囲の方に応募を呼び掛けてほしいこと、プラクティショナーに多くの応募があり審査を実施中であること、各支部大会で機構PR発表及び若手支援のランチョンセミナーを開催した旨報告があった。

(6-8) 若手支援委員会

齋藤副委員長より、11月東海支部研究大会と12月関東支部大会において、認定機構と共催で若手向けランチョンセミナーを開催した旨報告があった。

(6-9) 企業活動推進委員会

横山委員長より、人間工学ソリューションセミナーを4回開催し、各回の参加者は50~100名、企業からの参加が7割程度で人間工学を広くPRできた旨、報告があった。

(6-10) 国際誌検討委員会

今回はなし。

(6-11) 普及委員会

和田副委員長より、12月15日に第2回オンライン読書会を開催した旨、報告があった。

(6-12) 戦略・将来構想委員会

持丸委員長より、ポリシーメーカーの方々との連携を深めるため大会発表を行ってきたが、第67回大会でも引き続き実施したい旨、報告があった。

(6-13) PSE 委員会

今回はなし。

(6-14) 利益相反・倫理委員会

今回はなし。

(6-15) 人間工学研究標準化推進委員会

佐藤委員長より、検討中の内容(人間工学的に環境やサービスを設計したときの標準化等)について報告があった。

(6-16) 第10期選挙管理委員会

小谷委員長より、i-Voteでの電子選挙を行い11月に次期代議員が決定したこと及び2月に役員選挙を実施予定の旨報告があった。各支部長に2026年1月12日までに次期支部長を選出してほしい旨お願いがあった。

(6-17) 役員候補者推薦委員会

鳥居塚委員長より、2026年1月に委員会を開催し進める旨、報告があった。

(7) プロジェクト報告

・AMED

榎原担当より、事業としては区切りがついており現在は普及と実装の活動を進めていること、関連学会のJESにも学会HPで成果報告ページのバナーを張っていただけるように依頼予定の旨、報告があった。

・厚労省科研

榎原担当より、陸上貨物運送業の腰痛予防の指針を作るため鳥居塚理事長が学会代表として参加している旨報告があった。

・人間工学事典発刊

榎原副委員長より、丸善出版と打ち合わせを進めている旨、報告があった。

(8) 支部報告

(8-1) 北海道支部

今回はなし。

(8-2) 東北支部

今回はなし。

(8-3) 関東支部

松田支部長より、12月14日(日)に第55回関東支部大会を武藤大会長のもと芝浦工業大学にて開催し、参加者は200名を超え盛況だった旨、報告があった。支部見学会を2026年3月7日に株式会社東洋信号通信社にて開催予定、次年度の支部大会は2026年12月に日本大学生産工学部津田沼キャンパスにて栗谷川幸代大会長のもと開催予定。

(8-4) 東海支部

横山支部長より、11月1日(土)に東海支部2025年研究大会を青木宏文大会長のもと名古屋大

学にて開催,12月23日には測定技法講座を開催した旨,報告があった。2026年研究大会は中京大学名古屋キャンパスにて宮崎大会長のもと開催予定。

(8-5) 関西支部

小谷先生より,12月13日(土)に2025年度関西支部大会を開催し,特別企画として高校生人間工学研究発表会を開催し,高校生のハイレベルな研究発表があり盛り上がった旨,報告があった。2026年支部大会は朝尾隆文先生(関西大学)を大会長として開催する予定。

(8-6) 中国・四国支部

石原支部長より,12月6日(土)に中国・四国支部第56回大会を齋藤大会長のもと,岡山県立大学にて開催し,参加者79名で盛況だった旨報告があった。次期支部長および次期大会長は樹野淳也先生(近畿大学)。支部大会での表彰について,制度を整え参加申し込み時に確認を取ったところ,応募者が増えた。2026年2月に見学会,3月27日に講演会・小シンポジウムをハイブリッドで開催予定。

(8-7) 九州・沖縄支部

小崎支部長より,11月29日(土)に九州・沖縄支部第46回大会を開催し参加者は約30名だった旨,報告があった。

(9) その他

今後の理事会・総会日程について(総務)

河合総務理事より,次回第80回理事会は2026年2月後半~3月初め頃,第81回理事会は2026年4月~5月頃に開催予定の旨,説明があった。

(10) 閉会

以上の議事を終え,12時12分に閉会した。

上記の決議を明確にするため,代表理事,監事がこれに記名押印する。

2025年12月24日

代表理事

鳥居塚 崇 印

監事

赤松 幹之 印

監事

白井 伸之介 印